



OMXは給湯も一年を通じて省エネ運転です。

- ・冷房時に出る排熱を捨てずに再利用して給湯するから省エネです。
- ・排熱を室外機から出さないから、周辺環境にもやさしいシステムです。
- ・熱のロスを減らすために昼間にお湯を沸かします。

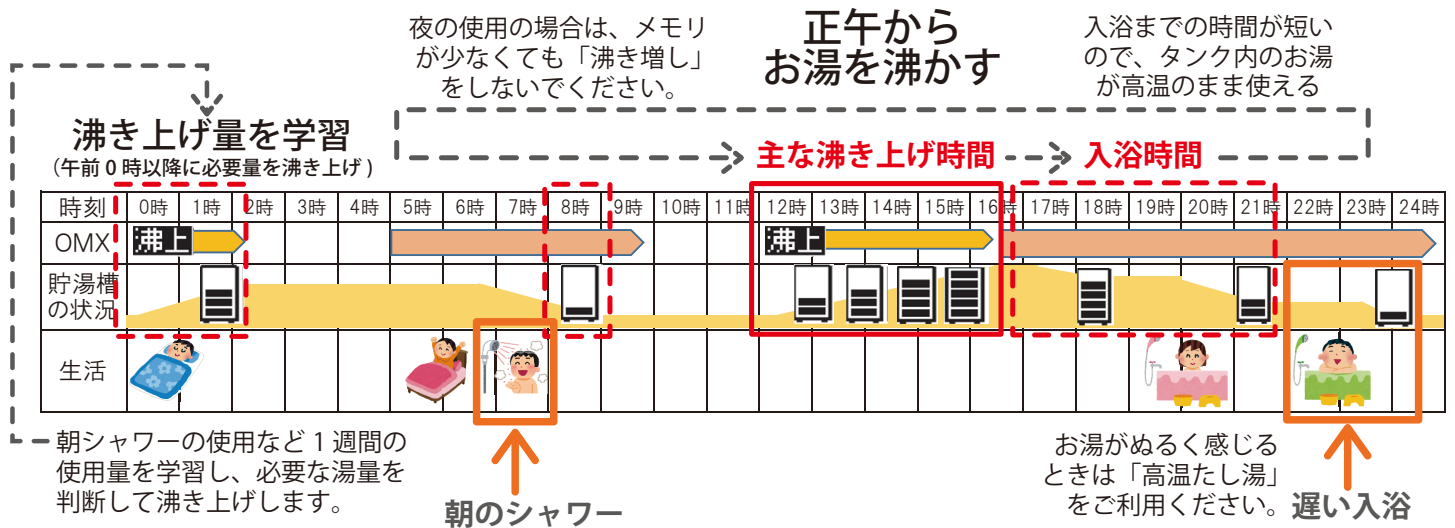
OMX「おまかせ設定」給湯

正午からお湯を沸かす

- ・昼間に沸き上げすることで夜間沸き上げと比べてヒートポンプ効率が良くなります。
- ・入浴時間までの時間が短いのでお湯の熱ロスが少ないことも大きなメリットです。

1週間の使用量を学習

- ・沸き上げ量は、毎日の使用量から自動で判断して湯量を調整します。
- ・朝の使用量が多い場合は、使用量に応じて午前0時以降に必要な量を沸き上げます。
- ・お買い求め時は、沸き上げ設定「おまかせ」の「湯量レベル／省エネ」に設定されています。



風呂の使い方を節約する方法

「ふろ保温時間」設定を0時間しておく

- ・お買い求め時「ふろ自動」で湯はりすると、自動的に2時間保温（自動たし湯・自動追いだき）をする設定になっています。
- ・「ふろ保温時間」を0時間にしておくと温度によるお湯の熱ロスやヒートポンプ効率を下げる原因を防げます。

メモリが少なくても「沸き増し」はしない

- ・朝のメモリが少なくても「沸き増し」をしないでください。沸き上げ量は学習して生活にあった湯量を自動で調整します。「沸き増し」は沸き上げに時間がかかり、ヒートポンプ効率を下げる原因になります。

お風呂の温度を上げたいときは「高温足し湯」を使う

- ・湯はりしてから時間が経ちお湯がぬるく感じたときは「追いだき」を使わずに、60℃のお湯を「足し湯」してお風呂を温めてください。

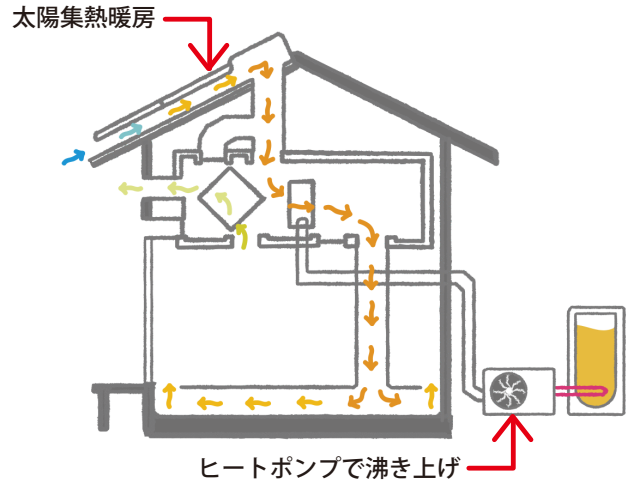
追いだき		湯量は変えずにお風呂を熱くします
高温たし湯		湯量も増やし、お風呂も熱くします (省エネ)

冬の沸き上げ運転

主に正午以降の「太陽集熱暖房」の時間帯（午後 12 時以降）にお湯を沸かします。

「ヒートポンプ」で沸き上げ

- 沸き上げ時、ヒートポンプによる暖房が停止しをして「太陽集熱暖房」で暖房するので、急激に室温は下がりにません。
- 手動で暖房運転に切り換えることもできます。

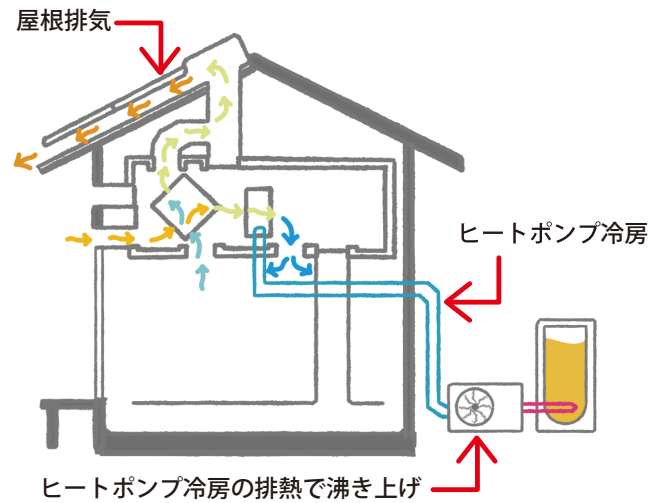


夏の沸き上げ運転

主に正午以降のもっとも暑い時間帯にお湯を沸かします。

「ヒートポンプ冷房」の排熱で沸き上げ

- 冷房排熱を外に出さないため周辺環境にも優しい運転です。

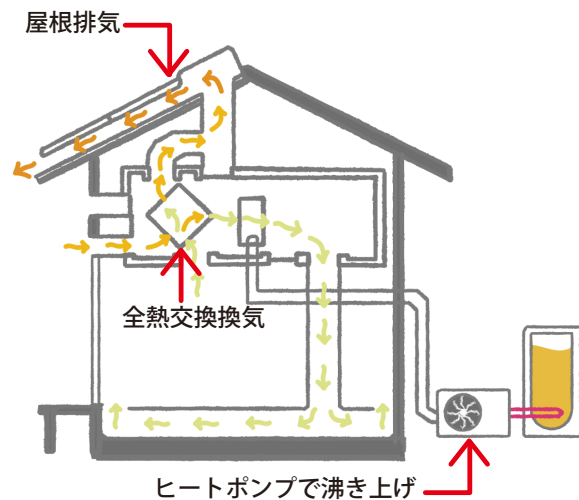


中間期（春・秋）の沸き上げ運転

主に正午以降にお湯を沸かします。

「ヒートポンプ」で沸き上げ

- 「全熱交換換気」で室温を調整します。



注意!!

- 沸き上げ設定を「深夜のみ」設定にしないでください。
冬季やお湯の使用量が多いときは、湯量不足になることがあります。